

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
国語科	論理国語	2単位	3年次	必修
教科書	精選 論理国語(数研出版 論国707)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすと共に、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。 ・言葉が持つ価値への認識を深めると共に、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばそうとしている。また、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。また、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	未来世代への責任	・スミスの引用部分に即して、資本主義社会の基本的な構造を理解する。 ・環境問題が「未来世代」に影響を与える例について考察する。	5	○	○	○	・資本主義社会の基本的構造が理解できたか。 ・「未来世代」の問題を解決するためには、「倫理」が必要だということが理解できたか。
5	日本語は非論理的か	・日本語が非論理的な構造を持つことを理解する。 ・論理的な日本語表現とはどういうものか理解する。	8	○	○	○	・日本人のコミュニケーションの技術から「非論理的」な表現が生まれることを理解できたか。 ・「読めない相手」に対しての論理的な表現とはどういうものか考察できたか。
6	超えて行く翻訳	・筆者が翻訳を読んで感じとったものを考察できたか。 ・翻訳によって原文の玄妙な味わいを失わないためには、どのようなことに留意すべきかを読み取る。	7	○	○	○	・筆者が翻訳をどのようなものであると考えているのかを読み取れたか。 ・言語の違いからくる、原文と訳文の世界観の違いを実感できたか。
7・8	メディアのテロル	・マス・メディアが起こす時間感覚の変容を読み取る。 ・「経験の交換」を意識して、それらのメディアをうまく活用するにはどのようにすれば良いのかを考察する。	8	○	○	○	・「テレビ」とはどのようなメディアであるかをマクルーハンの言葉から理解できたか。 ・メディアに言われている現在の状況をあらかじめ把握し、問題を自分のこととして考えられたか。
9	エコロジーのミューズを求めて	・本文全体から現代の「エコロジー」を巡る問題点を確認する。 ・筆者の主張する「生態学的叡智」には、「言葉(詩)」が必要であるということを理解する。	7	○	○	○	・現在のエコロジーを取り巻く問題点を理解できたか。 ・「言葉(詩)」こそが、自然と人間をつなぎ、真の「生態学的叡智」へと導くものであるということを理解できたか。
10	顔の所有	・「顔は誰のものか？」という常識から外れた問いから生まれる様々な問題について理解する。 ・「顔を所有すること」が逆に「顔に所有されること」になることを理解する。	8	○	○	○	・「顔を所有する」とした場合の論理的帰結の第一について理解できたか。 ・「顔を所有する」とした場合の論理的帰結の第二について理解できたか。
11	無常ということ	・筆者が言う「無常」と「常なるもの」について、本文全体の内容を踏まえて整理する。 ・筆者の考える「歴史」と自分の考える「歴史」とを比較しながら、筆者の主張に対する自分の意見をまとめる。	8	○	○	○	・自分を動かした美しさがどこへ消えたのかを考察する筆者の思考の過程が読み取れたか。 ・筆者の言う「無常」と「常なるもの」について考えを深められたか。
12・1	本歌取り	・本文の構成において、俊成の評の引用がもつ役割について考える。 ・定家の「本歌取り」理論について理解し、なぜそのような理論が必要であったか考える。	9	○	○	○	・「本歌取り」によって、表現が重層化することを理解したか。 ・本文中の具体例を論と結びつけて読む力と、文体から筆者の意図を考える力を身につけたか。

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
国語科	古典探究	2単位	3年次	必修
教科書	高等学校 古典探究(数研出版 古探711)			
副教材等	古文単語300+30(いいづな書店)、新修古典文法2訂版(京都書房)、漢文必携5訂版(桐原書店)、日本文学史ノート(桐原書店)			

① 科目の目標(学習指導要領)
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方と関わる中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにする	「読むこと」において、作品の構成や展開を正しく捉え、内容を正確に理解する	語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深めようとし、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしようとする。
時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	「読むこと」において、作品についての考察をすることで、自身の考えを深める。	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深めようとし、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めようとする。
		作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4・5	漢文読解1 『史記』鴻門之会	・語句の意味、句法を的確に理解する。(①) ・文章の主題や登場人物像を読み取り、内容を理解する。(②)	6	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝わるように表現できている。(②) ・小テストやノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(③)
5・6	古文読解2 『敬語入門』 『更級日記』東路の道の果て	・古文敬語の理解を深める(①) ・語句の意味、用法を的確に理解する。(①) ・主語を確認しながら読解し、文脈に沿って心情を読み取る。(②)	9	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝わるように表現できている。(②) ・小テストやノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(③)
7・8	古文読解2 『敬語入門』 『更級日記』物語	・古文敬語の理解を深める(①) ・語句の意味、用法を的確に理解する。(①) ・主語を確認しながら読解し、文脈に沿って心情を読み取る。(②)	9	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝わるように表現できている。(②) ・小テストやノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(③)
9	漢文読解2 『綿田録』売油翁 『搜神記』売鬼	・語句の意味、句法を的確に理解する。(①) ・文章の主題や登場人物像を読み取り、内容を理解する。(②)	9	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝わるように表現できている。(②) ・小テストやノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(③)
10・11	古文読解3 『源氏物語』須磨	・語句の意味、用法を的確に理解する。(①) ・物語世界や人物像に対する理解を深め、登場人物の心情や作品の主題について考えを深める。(②)	18	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝わるように表現できている。(②) ・小テストやノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(③)
12・1	漢文読解3 『韓非子』『饕官之害』	・語句の意味、句法を的確に理解する。(①) ・例話と主題の関係を読み取る。(②)	9	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝わるように表現できている。(②) ・問題集やノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(③)

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	必修
国語科	文学国語	2単位	3年次	D2・D3
教科書	文学国語(数研出版 文国706)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけると共に、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすと共に、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉が持つ価値への認識を深めると共に、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使用している。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしていると共に、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	ナイン	・英夫くんと常雄くんの心情を考察する作業を通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・語り手の視点の視点を踏まえて、英夫くんと常雄くんの心情と、正太郎くんが日陰を作ったエピソードとの関連性を考察する。	9	○	○	○	・「西日」に込められた意味を考察する作業を通して、語彙を豊かにすることができたか。 ・登場人物の心情と行動の関連性について考察できたか。
5	山月記	・人間が虎になるという設定の効果について考察する。 ・作品に哀憐が登場することの効果について考察する。	12	○	○	○	・作品の構成と展開を踏まえ、人間が虎になるという設定がもたらす効果について理解を深めることができたか。 ・李徴と哀憐の人物像を正確に把握できたか。
6	山椒魚	・山椒魚の考え方や行動に対する自分の考えを整理する。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対する考えを深める。	9	○	○	○	・山椒魚の考え方や行動を正確に理解できたか。 ・昭和初期の小説に触れることを通して、読書の意義と効用について理解を深めることができたか。
7・8	短歌 俳句	・「短歌」の文化的背景を調べることを通して、日本の言語文化の特質について理解を深める。 ・句が持つ味わいを吟味し、作者が表現したいことを鑑賞する。	12	○	○	○	・「短歌」や「俳句」が誕生した文化的背景と、そこで用いられる語句の意味を理解したか。
9	永訣の朝 発車	・作品の成立過程を調べた上で、宮沢賢治の妹への心情や兄弟のつながりについて理解し、「永訣の朝」の解釈を深める。 ・「発車」に描かれる作者の心情を正確に理解する。	9	○	○	○	・「永訣の朝」の成立背景、「松の針」「無声慟哭」との関連が理解できたか。 ・昭和の詩に触れることを通して、自分の意見を持つことができたか。
10	こころ	・「上 先生と私」「中 両親と私」が置かれていることの意味を考えさせる。	15	○	○	○	・場面別に「こころ」の主題を考察する作業を通して、作品内容を解釈することができたか。
11	檸檬	・作品に描かれている心の不可思議さに対して抱いた自分の感情を整理する。	9	○	○	○	・自ら進んで作品内容を解釈し、十分にものの見方、感じ方、考え方を深めているか。
12・1	舞姫	・豊太郎の回想手記の形式が作品にどのような効果を与えているかを考え、文学的文章の種類や特徴について理解を深める。 ・明治20年前後の日本の社会状況を的確に捉え、そうした社会状況が豊太郎に与えた影響を考	15	○	○	○	・明治という時代背景を踏まえて森鷗外の小説を読むことで、作品を解釈しているか。 ・語り手の視点がどこにあるのかを正確に理解しているか。

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
国語科	小論文研究	2単位	3年次	E2、4、5
教科書				
副教材等	小論文頻出テーマ2024現代を知る(第一学習社)	チェック&ワーク(第一学習社)	新聞記事	新書など
① 科目の目標(学習指導要領)				
社会に対する関心を深め、適切かつ効果的に表現する能力を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
テーマとなっている社会問題に応じて、自分の考えをまとめたり、深めたりすること。 与えられたテーマについて、幅広い情報を基に自分の考えをまとめること。 文章の構成を意識し、主張が効果的に伝わるよう工夫して書くこと。	関心のもった事柄に対して、調べあげた内容を整理して発表すること。 新聞や新書なども活用しながら、客観的な視点を踏まえた小論文を作成すること	相手の立場や、異なる視点を尊重して課題解決をする姿勢を持ち、論拠の妥当性を判断しながら、話し合いを進めること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実施	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	資料集、準拠問題集を活用し、テーマに沿って社会問題に対する知識を深める。大学入試の過去問題を活用し、小論文を執筆する	2024現代を知る(第一学習社) 2024チェック＆ワーク 新聞、新書、各大学書論文過去問題	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップ	60	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
4	・資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ生活・社会①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップ ブックの作成する	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
5	・資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ生活・社会②環境①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップ	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
6	・資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ環境②医療・看護①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップ	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
7	・資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ医療・看護②福祉①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップ	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
8 9	・資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ福祉②科学技術①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・新聞スクラップブックを作成する 作成したスクラップブックな	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
10	・資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・小論文を書く	テーマ科学技術②情報・メディア①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・新聞スクラップブックを作成する 作成したスクラップブックな	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
11	・資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・小論文を書く	テーマ情報・メディア②国際問題・異文化理解①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・新聞スクラップブックを作成する 作成したスクラップブックな	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
12	・資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・小論文を書く	国際問題・異文化理解②	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・新聞スクラップブックを作成する 作成したスクラップブックな	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・長文の読解力がどの程度身についたか。 ・年間を通じて意欲的に学習できたか。	2	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・長文の読解力がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
国語科	応用現代文	2単位	3年次	E3・4
教科書				
副教材等	ベネッセ重要問題演習 z会ページブックマスター			
① 科目の目標(学習指導要領)				
大学入試共通テストをはじめとする入学試験の現代文分野(評論・小説)に対応できる力と、試験時間の効率的な使い方を養うことができる。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
問題文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 問題文の内容を構成や展開に即して、限られた時間内で的確にとらえること。 問題文を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえること。	問題文の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。 問題文を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と諸外国の文化の関係について考察すること。 自己評価票を用いて内容についての考えを表現すること。	本文の文脈や漢字の語義から、知らない語句の意味を推測すること。 小テストや課題取り組みなどを行うので、必ず予習しておくこと。 問題演習を自己採点した後、解説やプリントを用いて必ず復習し、理解できるようにすること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実施	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	2冊のテキストから20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	ベネッセ重要問題演習 2会ページブックマスター	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	60	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
4	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「日本人にとって美しいとは何か」 「超絶海神」 「再生可能エネルギー」 「優しい音楽」 「フォトリテラシー」 「美瓜を鑑賞にも」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
5	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「社会を鑑賞にも」 「洗いで」 「反科学論」 「ある一行」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
6	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「情報とウェルビーイング」 「葬式に行かぬ訳」 「都市計画における風景」 「モードの多様性」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
7	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「暴力と富と資本主義」 「或る朝」 「贈り物と負債」 「金閣寺」 「デジタルメディア環境」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
8 9	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「詩と国家」 「無名」 「音楽の聴き方」 「夜のピクニック」 「都市の政治学」 「団旗はためく下に」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
10	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「本は変容するか」 「クラスメイト」 「未来都市は今」 「黄泉から」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を読解しノートにまとめる ・本文の内容を的確に要約する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
11	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「山の霊力」 「最初の秋」 「責任って何」 「六の宮の姫君」 「空き家が蝕む日本」 「六の宮の姫君」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
12	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「日本語をどう書くか」 「艦」 「現代科学論の名著」 「花園の思想」 ※言語活動分野問題	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・長文の読解力がどの程度身についたか。 ・年間を通じて意欲的に学習できたか。	2	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・長文の読解力がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	
国語科	応用古典	2単位	3年次	E4・E5	
教科書					
副教材等	「共通テスト分野別ベーシックマスター-国語 古文・漢文」(Z会)・「重要問題演習2025共通テスト古典」(ベネッセ)				
科目の目標(学習指導要領)					
これまでに学んだ古典の基礎を発展させ、古文・漢文の読解力をより高め、ものの見方、感じ方、考え方を広く養うとともに、読解に必要な知識を深く理解する力を育てる。					

評価の観点		
①知識・技能	②思考力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
・問題文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 ・問題文の内容を構成や展開に即して、限られた時間内で的確にとらえること。 ・問題文を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえること。	・問題文の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。 ・問題文を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化の関係について考察すること。	・本文の文脈や漢字の語義から、知らない語句の意味を推測すると。 ・問題演習を自己採点した後、解説やプリントを用いて復習し、理解できるようにすること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
① 知識・技能	各検査等状況の80％以上	各検査等状況の30％以上	各検査等状況の30％未満
② 思考力・表現力	各活動内容の80％以上	各検査等状況の30％以上	各検査等状況の30％未満
③ 主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加(積極的な発言など) 80％以上	提出物状況・授業への参加(積極的な発言など) 30％以上	提出物状況・授業への参加(積極的な発言など) 30％未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習指導内容	実 時	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通 年	【Z会ベージャマスター】 【ベネッセ重要問題演習】	(古文→漢文の順番) ①20分で1題の演習問題を解く。 ②残りの時間と次の時間を使って、採点と解説を行う。 ③このサイクルを繰り返す。	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	60	○	○	○	【知識・技能】 ・古典の読解に必要な語句の意味、用法及び文章の構造を的確に理解している。 ・設問に対して的確な解答を作成できている。 【思考力・表現力】 ・古典を読み、日本文化の特質や日本文化と中国の関係について学び、自分の考えを深化させている。 ・設問に対して内容を理解し、自身がどのように考えたか表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・あらゆる分野の作品に意欲的に触れることで、作品内容の構成や展開をとらえる力を身につけている。 ・学習内容を理解し、粘り強く取り組む活動している。
4	【Z会ベージャマスター】 【ベネッセ重要問題演習】 (古文→漢文の順番) ①20分で1題の演習問題を解く。 ②残りの時間と次の時間を使って、採点と解説を行う。 ③このサイクルを繰り返す。	初エッセイ 【Z会ベージャマスター】 古文1「古今著聞集」「富家語」 漢文1「搜神後記」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	5	○	○	○	【知識・技能】 ・古典の読解に必要な語句の意味、用法及び文章の構造を的確に理解している。 ・設問に対して的確な解答を作成できている。 【思考力・表現力】 ・古典を読み、日本文化の特質や日本文化と中国の関係について学び、自分の考えを深化させている。 ・設問に対して内容を理解し、自身がどのように考えたか表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・あらゆる分野の作品に意欲的に触れることで、作品内容の構成や展開をとらえる力を身につけている。 ・学習内容を理解し、粘り強く取り組む活動している。
5		古文2「さいき」 漢文2「列女伝」 古文3「藤裏書」 漢文3「宋清伝」		7	○	○	○	
6		漢文3「宋清伝」 古文4「増補」 漢文4「列女伝」 前期の確認①		6	○	○	○	
7		古文5「藤裏書」 漢文5「宋清伝」 古文6「風に紅葉」		5	○	○	○	
8・9		古文6「風に紅葉」 漢文6「文海披沙」 古文7「小教盛絵巻」 漢文7「管子」 古文8「木庵の時雨」 漢文8「老学庵筆記」「西清詩話」		11	○	○	○	
10		漢文8「老学庵筆記」「西清詩話」 古文9「紫文雲嶺」「源氏物語」 漢文9「列子」「論衡」 古文10「平家物語」「源氏物語」 漢文10「荘子」「白氏文集」		9	○	○	○	
11		漢文10「荘子」「白氏文集」 古文11「伊勢物語」 「伊勢物語古意」 「伊勢物語新釈」 漢文11「木庵の時雨」 漢文12「五山堂詩話」「序」 「春曉」		8	○	○	○	
12		漢文13「臨川先生文集」「論語」		7	○	○	○	
1		【ベネッセ重要問題演習】 古文12「錦木物語」 漢文14「容斎隨筆」 古文13「なよ竹物語絵巻」 漢文14「容斎隨筆」		2	○	○	○	

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
国語科	教養国語	2単位	3年次	E1・C
教科書				
副教材等	漢字ボックス(浜島書店) パスポート国語必携(桐原書店)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
漢字や語彙の学習を通し、これらを取得していく習慣を形成するとともに、日本語の特徴に関心を持ち、解釈や表現に生かそうとする意識を育てる。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
漢字の語句の意味、用法を理解すること。 日本語のことわざや慣用句の意味を理解すること。 日本の文学史についての知識を深めること。	一般教養問題についての理解を深め自ら活用する力や表現力を身につけること。 我が国の文化と諸外国の文化の関係について考察すること。 「運命の漢字」を調べ発表し表現力を身につけること。	漢字の語義から、知らない語句の意味を推測すること。 小テストや課題取り組みなどを行うので、必ず予習しておくこと。 「運命の漢字」を選び主体的に調べることに。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実施	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字ボックス(浜島書店) パスポート国語必携(桐原書店)	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	60	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」2文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
4	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定5級レベル問題 文章の整え方 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」3文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
5	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定4級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」4文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
6	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定3級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」5文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
7	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定3級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」6文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
8 9	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定準2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」7文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
10	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定準2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」8文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
11	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」9文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
12	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定2級レベル問題 ことわざ・慣用表現 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」10文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・国語の一般教養がどの程度身についたか。 ・年間を通じて意欲的に学習できたか。	3	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・国語の一般教養がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	
国語科	教養国語	2単位	2・3年次	C	
教科書					
副教材等	漢字ボックス(浜島書店) パスポート国語必携(桐原書店)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
・漢字や語彙の学習を通し、これらを取得していく習慣を形成するとともに、日本語の特徴に関心を持ち、解釈や表現に生かそうとする意識を育てる。 ・異年次交流であるため、グループワークを通して発表学習を行う。その際に論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら実施する。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
漢字の語句の意味、用法を理解すること。 日本語のことわざや慣用句の意味を理解すること。 日本の文学史についての知識を深めること。	一般教養問題についての理解を深め自ら活用する力や表現力を身につけること。 我が国の文化と諸外国の文化の関係について考察すること。 「運命の漢字」を調べ発表し表現力を身につけること。	漢字の語義から、知らない語句の意味を推測すること。 小テストや課題取り組みなどを行うので、必ず予習しておくこと。 「運命の漢字」を選び主体的に調べること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実施	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通じてプレゼンテーションを行う。	漢字ボックス(浜島書店) パスポート国語必携(桐原書店)	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	70 (3年次は60)	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」2文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
4	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通じてプレゼンテーションを行う。	漢字検定5級レベル問題 文章の整え方 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」3文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
5	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通じてプレゼンテーションを行う。	漢字検定4級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」4文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
6	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通じてプレゼンテーションを行う。	漢字検定3級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」5文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
7	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通じてプレゼンテーションを行う。	漢字検定3級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」6文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
8 9	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通じてプレゼンテーションを行う。	漢字検定準2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」7文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
10	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通じてプレゼンテーションを行う。	漢字検定準2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」8文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
11	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通じてプレゼンテーションを行う。	漢字検定2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」9文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
12	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 漢字を通じてプレゼンテーションを行う。	漢字検定2級レベル問題 ことわざ・慣用表現 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する演習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」10文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。 ここまでが3年次	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・国語の一般教養がどの程度身についたか。 ・年間を通じて意欲的に学習できたか。	3	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・国語の一般教養がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)
2 ・ 3	ここから2年次のみ自作のプリントを使用し志望理由書の書き方と小論文の書き方についての基礎的知識を身につける	授業評価アンケートの実施	・年間を通して行った語彙力や教養を用いた各課題に取り組んだか。 ・志望理由が明確になっているか。 ・小論文の書き方が的確に理解されているか。	10	○	○	○	・語彙力と教養がどの程度身についたか。(知識・技能) ・各課題に対して自分の考えを深めながら取り組んだか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
数学	数学Ⅲ	5単位	3年次	D2・E2
教科書	NEXT数学Ⅲ(数研出版)			
副教材等	CONNECT数学Ⅲ(数研出版)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解する。	事象を数学的に考察する力を身に付ける。	課題等への取り組み、提出。
事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。	既習の内容を基にして問題を解決し、思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を身に付ける。	授業の予習や準備に対する取り組み。
数学的な問題解決に必要な知識を身に付ける。	数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を身に付ける。	グループワークやペアワーク等への取り組み。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	達成率約70%以上	達成率約50%以上	達成率約50%未満
②思考力 表現力	達成率約50%以上	達成率約30%以上	達成率約30%未満
③学びに向かう力	達成率約80%以上	達成率約60%以上	達成率約60%未満

年間指導計画および各観点評価の基準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実施時間(分)	①	②	評価のポイント(基準)
4	第1章 関数	1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数 テスト	15	○	○	関数について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
5 6	第2章 極限	第1節 数列の極限 第2節 関数の極限 テスト	32	○	○	極限について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
7	第3章 微分法	第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 テスト	22	○	○	微分法について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
8 9	第4章 微分法の応用	第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用 テスト	28	○	○	微分法の応用について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
10 11 12	第5章 積分法とその応用	第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用 テスト	53	○	○	積分法について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科 数学	科目 数学C	単位数 2単位	開設年次 3年次	選択群 C・E2・E4	
教科書	NEXT数学C(数研出版)				
副教材等	CONNECT数学C(数研出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解する。	事象を数学的に考察する力を身に付ける。	課題等への取り組み、提出。
事象を数値化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。	既習の内容を基にして問題を解決し、思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を身に付ける。	授業の予習や準備に対する取り組み。
数学的な問題解決に必要な知識を身に付ける。	数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を身に付ける。	グループワークやペアワーク等への取り組み。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	達成率約70%以上	達成率約50%以上	達成率約50%未満
②思考力 表現力	達成率約60%以上	達成率約40%以上	達成率約40%未満
③学びに向かう力	達成率約80%以上	達成率約60%以上	達成率約60%未満

年間指導計画および各観点評価の基準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4 5 6	第1章 平面上のベクトル	第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 テスト	15 ○ ○	平面上のベクトルについて理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
7 8	第2章 空間のベクトル	1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間 テスト	10 ○ ○	空間のベクトルについて理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
9 10	第3章 複素数平面	1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形 テスト	15 ○ ○	複素数平面について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
11 12 1	第4章 式と曲線	第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標 テスト	20 ○ ○	式と曲線について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
数学	応用数学A	3単位	3年次	D1
教科書	ベストセクション 2026大学入学共通テスト数学重要問題集(実教出版)			
副教材等	2026 共通テスト実践問題			
	2026 共通テスト直前演習数学I・A 35分×14回			
① 科目の目標(学習指導要領)				
数学I・Aのそれぞれの単元について、発展的な知識の習得と技能の習熟を図ることによって、事象を多面的に考察し、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
数学における基本的な概念や原理・原則を(体系的に)理解できた。	事象を数学的に考察する力を身につけた。	課題への取り組み・提出ができた。
(数学における)問題解決に必要な知識を身につけた。	(事象を明瞭・明確に)数学的な表現をすることができた。	授業の予習・復習に対する準備ができた。その上で授業に臨めた。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	単元テスト・授業への参加等の達成率80％以上	単元テスト・授業への参加等の達成率50%	単元テスト・授業への参加等の達成率50%未満
②思考力 表現力	単元テスト・授業への参加等の達成率70％以上	単元テスト・授業への参加等の達成率40%	単元テスト・授業への参加等の達成率40%未満
③学びに向かう力	授業への参加・課題の提出等の達成率80％以上	授業への参加・課題の提出等の達成率60%	授業への参加・課題の提出等の達成率60%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②		評価のポイント(規準)
通年	全ての単元	・課題提出 ・授業観察(取り組み姿勢)			・課題にきちんと取り組み提出できた。 ・(授業内の)演習を含めてきちんと授業を受けた。
4	数と式・集合と論証	多項式の計算／因数分解／無理数の計算／対称式／不等式／絶対値記号／集合と命題	7	○	・各単元とも基本事項を理解できている。 ・テキストの各項目に対する考え方が理解でき、問題解決に必要な知識を身につけている。
4・5	二次関数	最大・最小／平行移動／対称移動 ／ 最大・最小(応用)／ 二次関数の決定／二次方程式／ 二次不等式	9	○	
5・6	図形と計量	三角比の相互関係／三角方程式／ 三角不等式／正弦定理／余弦定理 ／ 面積／空間図形	9	○	
7	データの分析	代表値／四分位数／箱ひげ図／分散／ 標準偏差／共分散／相関係数	7	○	
8・9	場合の数と確率	順列／組み合わせ／確率の計算／ 反復試行／条件付確率／期待値	9	○	
9・10	図形の性質	角の二等分線／三角形の五心／ メネラウスの定理／チェバの定理 ／ 円の性質／接線	8	○	
10 11 12 1	演習	数学I・Aの復習 (共通テストに向けた演習) 個別試験に向けた演習	41	○	・共通テストレベルの問題や個別試験レベルの問題への対応力を身につけた。

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
数学科	応用数学B	3単位	3年次	D1, D2
教科書				
副教材等	2025 大学入学共通テスト(問題集) 2025 実践問題バックV			
① 科目の目標(学習指導要領)				
数学Ⅱ、数学B、数学Cの内容の演習等をとおして、共通テストをはじめとした入試に対応できる力をつける。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解することができた。	事象を数学的に考察する力を身に付けることができた。	課題等への取り組み、提出ができた。 ※ 『課題については主に①②を身につける目的の課題』及び『テキストの内容+αの課題』の2種類を予定。
事象を数値化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けることができた。	既習の内容を基にして問題を解決し、思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を身に付けることができた。	授業の予習や準備に対する取り組みができた。
数学的な問題解決に必要な知識を身に付けることができた。	数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けることができた。	グループワークやペアワーク等への参加に意欲をもって取り組んだ。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	テスト等の達成率約70%以上	テスト等の達成率約30%以上	テスト等の達成率約30%未満
②思考力 表現力	テスト等の達成率約60%以上	テスト等の達成率約30%以上	テスト等の達成率約30%未満
③学びに向かう力	授業への参加、課題提出約80%以上	授業への参加、課題提出約30%以上	授業への参加、課題提出約30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月 通 年	単元名	主な学習(指導)内容	実時間数 ① ②	評価のポイント(規準)
	全ての単元	定期的な課題提出 授業に取り組む姿勢		課題をきちんと提出することができた。 しっかり授業を受けることができた。
4	確率分布と統計的推測	確率変数の期待値と分散、二項分布、正規分布、標準正規分布、 標本平均の期待値と標準偏差 母平均の推定、統計的仮説検定	9 ○ ○	確率分布と統計的推測について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
5	式と証明・高次方程式	二項定理、複素数、解と係数の関係、 剰余の定理、因数定理、高次方程式	6 ○ ○	式と証明・高次方程式について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
5	微分法と積分法	接線の方程式、極大値・極小値、 3次関数の最大・最小、面積、 微分と積分の関係	6 ○ ○	微分法と積分法について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
6	三角関数	加法定理、2倍角・半角の公式、 三角関数の合成、三角方程式・不等式、	9 ○ ○	三角関数について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
7	指数・対数関数	指数・対数の性質、指数・対数の計算、 指数・対数関数のグラフ、 指数・対数方程式、不等式	6 ○ ○	指数・対数関数について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
7	数列	等差数列、等比数列、階差数列、 漸化式、群数列	6 ○ ○	数列について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。 確率分布と統計的推測について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
8	図形と方程式	直線の方程式、点と直線の距離、 円の方程式、軌跡の方程式、 領域内での最大・最小	6 ○ ○	図形と方程式について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
9	ベクトル	平面ベクトル、空間ベクトル 位置ベクトル	9 ○ ○	ベクトルについて理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
10	複素数平面	複素数平面の偏角と図形、 ド・モアブルの定理、 複素数平面上の図形・点の回転移動	6 ○ ○	複素数平面について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
10		共通テストに向けて演習	6 ○ ○	共通テストレベルの問題に対応できる力を身につけた。
11		共通テストに向けて演習	9 ○ ○	共通テストレベルの問題に対応できる力を身につけた。
12		共通テストに向けて演習	9 ○ ○	共通テストレベルの問題に対応できる力を身につけた。
1		個別試験に向けて演習	3 ○ ○	個別試験レベルの問題に対応できる力を身につけた。
2 3				

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	
数学	基礎数学	3単位	3年次	D1	
教科書					
副教材等	チェックノート数学Ⅰ + A(数研出版)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
1年次に学習した数学を基礎として、基本的な問題の考察を通して、公式の成り立ち、数学的な見方・考え方の良さについての理解を深化させ、高校卒業後も社会人として有用な数学的思考と能力を育てる。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解する。	事象を数学的に考察する力を身に付ける。	小テストへの取り組み。
事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。	既習の内容を基にして問題を解決し、思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を身に付ける。	授業の予習や準備に対する取り組み。
数学的な問題解決に必要な知識を身に付ける。	数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を身に付ける。	授業への取り組み。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	達成率約70%以上	達成率約50%以上	達成率約50%未満
②思考力 表現力	達成率約60%以上	達成率約40%以上	達成率約40%未満
③学びに向かう力	達成率約80%以上	達成率約60%以上	達成率約60%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時間数	①	②	評価のポイント(規準)
4	第1章 数と式	展開の公式、因数分解、根号を含む式の計算、1次不等式、絶対値を含む方程式・不等式	13	○	○	数と式について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
5	第2章 集合と命題	集合と命題、命題と条件、命題と証明	6	○	○	集合と命題について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
6 7	第3章 2次関数	関数とグラフ、2次関数のグラフ、2次関数の最大・最小、2次関数の決定、2次方程式、グラフと2次方程式、2次不等式の解法、2次方程式の応用、連立方程式	20	○	○	2次関数について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
8	第4章 図形と計量	三角比、三角比の拡張、正弦定理・余弦定理、正弦定理・余弦定理の応用、三角形の面積、空間図形への応用	14	○	○	図形と計量について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
9	第5章 データの分析	データの分析	5	○	○	データの分析について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
10 11	第6章 場合の数と確率	集合の要素の個数、場合の数、順列、組合せ、事象と確率、独立試行の確率、条件付き確率、期待値	21	○	○	場合の数と確率について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
12 1	第7章 図形の性質	三角形の辺の比、三角形の外心・内心・重心、チェバの定理・メネラウスの定理、円に内接する四角形、円と直線、方べきの定理	11	○	○	図形の性質について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
数学科	応用数学Ⅰ	2単位	3年次	E5
教科書				
副教材等	2026 大学入学共通テスト数学重要問題集(実教出版) 2026 共通テスト直前演習数学Ⅰ・A(ベネッセコーポレーション)			
① 科目の目標(学習指導要領) 数学Ⅰ、数学Aの内容の演習等とおして、共通テストをはじめとした入試に対応できる力をつける。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解することができた。	事象を数学的に考察する力を身に付けることができた。	課題等への取り組み、提出ができた。
事象を数式化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けることができた。	既習の内容を基にして問題を解決し、思考の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を身に付けることができた。	授業の予習や準備に対する取り組みができた。
数学的な問題解決に必要な知識を身に付けることができた。	数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けることができた。	グループワークやペアワーク等への参加に意欲をもって取り組んだ。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	テスト等の達成率約70%以上	テスト等の達成率約50%以上	テスト等の達成率約50%未満
②思考力 表現力	テスト等の達成率約60%以上	テスト等の達成率約40%以上	テスト等の達成率約40%未満
③学びに向かう力	授業への参加、課題提出約80%以上	授業への参加、課題提出約50%以上	授業への参加、課題提出約50%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月 通 年	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目		評価のポイント(規準)
			①	②	
	全ての単元	定期的な課題提出 授業に取り組む姿勢			課題をきちんと提出することができた。 しっかり授業を受けることができた。
4	公式の確認 数と式・集合と論証	整式の加法、減法、因数分解、 連立不等式、絶対値と場合分け 共通部分と和集合、命題の真偽、 必要条件・十分条件	4	○	公式を身に付けることができた。 数と式・集合と論証について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
5	2次関数	2次関数の最大・最小、 放物線の平行移動・対称移動、 2次関数の決定、2次方程式、 2次不等式	7	○	2次関数について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
6	図形と計量	三角比の相互関係、 三角比を用いた方程式・不等式、 正弦定理、余弦定理、 三角比の計量、外接円・内接円の半径	8	○	図形と計量について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
7	データの分析	四分位範囲と外れ値、箱ひげ図、 分散・標準偏差、共分散と相関、 相関係数と散布図	7	○	データの分析について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
8	場合の数と確率	集合の要素の個数、順列、重複順列、 円順列、組分け問題、 和事象および余事象の確率、 反復試行の確率、条件付き確率	3	○	場合の数と確率について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
9	図形の性質	角の二等分線の性質、三角形の五心、 チェバ・メネラウスの定理、 円に内接する四角形の性質、接弦定理	8	○	図形の性質について理解し、基本問題から応用問題まで解ける力を身につけた。
10		共通テストに向けて演習	8	○	共通テストレベルの問題に対応できる力を身につけた。
11		共通テストに向けて演習	7	○	共通テストレベルの問題に対応できる力を身につけた。
12		共通テストに向けて演習	6	○	共通テストレベルの問題に対応できる力を身につけた。
1		個別試験に向けて演習	2	○	個別試験レベルの問題に対応できる力を身につけた。
2 3					

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
公民	政治・経済	3単位	3年次	B1-02-03
教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）			
副教材等				
① 科目の目標（学習指導要領）				
社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
現代の日本政治や国際政治・国際経済の仕組みや課題について深く理解しており、諸資料から様々な情報を得て適切に判断することができる。	現代の日本政治や国際政治・国際経済の仕組みや課題について深く考え、文章や資料等で分かりやすく表現することができる。	現代の日本政治や国際政治・国際経済の仕組みや課題について自ら追求しようとする意識を持ち、授業や課題に取り組んでいる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、適切な判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、適切な判断もできない。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、文章や資料で表現することができます。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、文章や資料で表現することができます。	学習内容に関する自らの意見を考察し、文章や資料で表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートや課題を実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4月 5月 6月 7月 8月 9月	現代日本の政治・経済 〔政治分野〕	政治と法の意義と機能 法の支配と立憲主義 基本的人権の保障と日本国憲法 現代社会における新しい人権 議会制民主主義と世界の政治体制 国会の組織と立法 内閣の組織と行政 裁判所の機能と司法制度 地方自治と住民の選挙 政党政治と選挙	50	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・授業内容についての基本知識が身についているか【知識・技能】
10月 11月	現代の国際政治・経済 〔政治分野〕	国際社会の変遷 国際法の意義 国際機構の役割 国際紛争と軍縮への取り組み	15	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・授業内容についての基本知識が身についているか【知識・技能】
11月 12月	現代の国際政治・経済 〔経済分野〕	貿易の現状と意義 国際経済と国際収支 為替相場の変動 国際協調と国際経済機関の役割 国際経済における日本の地位と国際協力	25	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・授業内容についての基本知識が身についているか【知識・技能】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
公民	倫理	3単位	3年次	D1・D3
教科書	詳述倫理(実教出版)			
副教材等	アプローチ倫理資料集PLUS 2024(東京法令出版)			
① 科目の目標(学習指導要領) 人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
・西洋と日本の思想についての基本的な事柄を理解し、現代の諸課題と関連付けながら、その知識を身に付けているか。	・現代の諸課題から思想を見出し、文化の多様性と現代社会の特質を倫理的な視野に立つて多面的・多角的に考察しようとしているか。また国際社会の変化を踏まえ、公正に判断し、考察した過程や結果を適切に表現しようとしているか。	・現代に生きる自己の課題と、人間としての生き方と社会のあり方について関心をもち、意欲的に追求しようとしているか。
・西洋と日本の思想についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して倫理的事象を追究する方法を身に付けているか。	・世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現できているか。	・課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ・ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。
・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解できているか。 ・地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解できているか。	・地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。	・課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容。 ・ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、意欲的に課題に取り組むことができる。	学習内容の基本事項が身についている。	学習内容の基本事項が身についていない。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、表現することができる。	学習内容について、自らの意見について考察し、表現できている。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現できない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4月 5月 6月	・青年期の異議と課題 ・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想	・青年期の意義と課題 ・ギリシア思想(ソクラテス・プラトン・アリストテレス) ・キリスト教(古代ユダヤ教・イエス) ・イスラーム ・仏教(ブッダ) ・中国思想(儒家・老荘)	30	○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・青年期の意義と課題について、現状を捉えながら自らの考えをまとめ、表現できているか【思考力・表現力】 ・ギリシア思想やキリスト教思想について自分なりの考えをまとめ、表現できているか【思考力・表現力】 ・仏教や中国思想について正しい知識を身につけることができたか【知識・技能】
7月 8月 9月	・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開 ・人間の尊厳 ・科学・技術と人間 ・民主社会と自由の実現	・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開 ・人間の尊厳(ルネサンス・宗教改革・モラリスト) ・科学・技術と人間(近代の自然観) ・民主社会と自由の実現(カント・ヘーゲル)	30	○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・古代の日本人の思想や日本の仏教思想について自分なりに考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・様々な宗教や文化の違いについて捉えながら、共生するための方策について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・近世の日本思想や西洋思想の受容と展開について資料をもとに、その諸課題について捉えることができるか【知識・技能】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
10月 11月 12月	・社会と個人 ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福 ・現代の諸課題と倫理(テーマ学習)	・社会と個人(功利主義・社会主義) ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福(生命への畏敬と非暴力の思想) ・現代の諸課題と倫理(生命・環境・家族・地域社会・文化・宗教・国際平和と人類の福祉)	30	○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・現代の倫理的な諸課題について自分なりに考察し、表現することができるか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
公民	政治・経済	2単位	3年次	E2、E5、C
教科書	高等学校 政治・経済(第一学習社)			
副教材等				
科目の目標(学習指導要領)				
・社会の諸課題を探究するための概念や理論を理解し、社会の在り方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。 ・現実社会に見られる課題を把握し、公正に判断して社会参画に向かう力を養う。				

評価の観点

①②知識・理解および技能	③思考力・判断力・表現力	④関心・意欲・態度(学習に向かう力)
・現代の政治・経済・国際関係について広く知識を習得し、理解を深める。 ・様々な社会的現象を通して、民主主義の本質について理解する。	・現代社会の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力と良識ある公民として必要な能力・態度を育てる。 ・自己の考察や分析を文章・説明などによって表現することができる。	・課題などへの取り組み状況 ・提出物の提出状況とその内容 ・グループワークなどへの参加状況

上記の観点を以下の基準で評価します。(達成率に基づき3段階に評価。成績は5段階評定)

	評価Aとなること(達成率80%以上)	評価Bとなること(達成率45%以上)	評価Cとなること(達成率45%未満)
①②知識・理解・技能	学習内容について資料などを読み取り、学習内容の基本知識が十分に身についている。	学習内容について基本事項が概ね身につく。	学習内容の基本事項が身についていない。
③思考力・判断力・表現力	学習内容について、現状を客観的に捉えながら建設的に考察し、表現することができる。	学習内容について、自ら考察し表現することができる。	学習内容について、考察・表現することができない。
④関心・意欲・態度	ノートやワークシートの取り組みに工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワークに積極的に参加している。	授業内の諸活動に意欲的に取り組んでいる。	授業に対して参加する意欲がない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時 ① ②	評価のポイント(規準)
4	第3節 市場経済の機能と限界	1経済活動と市場	4	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・経済活動と市場機能について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
5		2経済主体と経済循環 3国民経済の大きさと経済成長	7	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・経済循環について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・国民経済と経済成長について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
6		4物価と景気動向 5市場の失敗と公害・消費者問題	8	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・物価と景気の動向について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・市場の失敗について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
7	第4節 持続可能な財政および租税のあり方	1財政のしくみと租税の意義	5	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・財政のしくみについて考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
8	第5節 金融を通じた経済活動の活性化	1金融の仕組みとはたらき	5	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・金融の仕組みとはたらきについて考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
9	第6節 経済活動と福祉の向上	1日本経済の変化と中小企業 2労使関係と労働問題 3社会保障制度と福祉のあり方	7	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・日本経済の変化と特徴について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・労使関係と労働問題について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・社会保障制度と福祉のあり方について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
10	第2編 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	1貿易の現状と意義 2国民経済と国際収支	7	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・貿易の現状と意義について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・国民経済と国際収支について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
11		3為替相場の変動 4国際協調と国際経済機関の役割	8	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・為替相場の変動について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・国際協調と国際経済機関の役割について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
12	第4節 国際経済において求められる日本の役割	1国際経済における日本の地位と国際協力	5	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・国際経済における日本の地位と国際協力のあり方について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・日本の産業構造の変化について考察し、表現できているか【思考力・表現力】 ・各学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
1	第2章 国際社会の諸課題の探求	1グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容	4	・学習活動に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
公民	応用公共	2単位	3年次	E2・C
教科書	公共(実教出版)			
副教材等	なし			
① 科目の目標(学習指導要領)				
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
現代経済の仕組みや日本経済及び国民生活の課題について深く理解しており、諸資料から様々な情報を得て適切に判断することができる。	現代経済の仕組みや日本経済及び国民生活の課題について深く考え、文章や資料等で分かりやすく表現することができる。	現代経済の仕組みや日本経済及び国民生活の課題について自ら追求しようとする意識を持ち、授業や課題に取り組んでいる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、適切な判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、判断ができています。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、適切な判断もできない。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、文章や資料で表現することができる。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、文章や資料で表現することができる。	学習内容に関する自らの意見を考察し、文章や資料で表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートや課題を実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4月 5月 6月 7月	現代の経済社会	経済主体と経済活動の意義 経済社会の姿容 市場の仕組み 市場の失敗 現代の企業 国民所得 経済成長と国民の福祉 金融の役割 日本銀行の役割 財政の役割と課題	24	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・現代の経済社会についての基本知識が身についているか【知識・技能】
8月 9月 10月 11月	日本経済の特質と国民生活	戦後日本経済の成長と課題 転機に立つ日本経済 経済社会の変化と中小企業 農業と食料問題 消費者問題 公害の防止と環境保全 労働問題と労働者の権利 こころの労働問題 社会保障の役割 社会保障制度の課題	26	○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができていますか【知識・技能】 ・日本経済の特質と国民生活についての基本知識が身についているか【知識・技能】
12月 1月	問題演習	共通テストに向けた問題演習と解説 私大受験に向けた問題演習と解説	10	○	・問題演習に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・思考判断を問う問題に取り組んでいるか【思考力・表現力】 ・知識理解を問う問題に取り組んでいるか【知識・技能】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
地理歴史	応用地理	2単位	3年次	E2・C
教科書	新詳地理探究(帝国書院)			
副教材等	高等地図帳(二宮書店)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
・現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けているか。 ・地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめているか。	・現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現しているか。	・現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的生きる日本国民としての責任を果たそうとしているか。
・世界の人々の特色ある生活文化が多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解できているか。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解できているか。	・世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や、自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現できているか。	・課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容、ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。
・地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解できているか。 ・地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解できているか。	・地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。	・課題等への取り組み状況、提出物の提出状況や内容、ペアワークやグループワーク等への参加に対する状況。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	資料や統計をしっかりと読み取った上で、学習内容の基本知識がしっかりと身に付いている。	学習内容の基本事項が身に付いている。	学習内容の基本事項が身に付いていない。
②思考力 表現力	学習内容について、現状を捉えながら建設的な意見をしっかりと考察し、表現できている。	学習内容について、自らの意見について考察し、表現できている。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現できない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシート・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4月 5月 6月	現代世界の系統地理的考察 ・工業 ・第3次産業 ・交通・通信と観光、貿易 ・人口、村落・都市 ・生活文化、民族、宗教	・工業・第3次産業 ・交通・通信、観光 ・貿易と経済圏 ・人口と人口問題 ・村落と都市 ・都市・居住問題 ・衣食住 ・民族・宗教と民族問題 ・国家の領域と領土問題	20	○ ○ ○ ・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・世界の諸地域における地理的状況についての確に考察し、その問題点について自分なりに表現できているか【思考力・表現力】 ・様々な地球的課題とその対策について考察し、表現できている【思考力・表現力】 ・資料や統計をもとに、様々な地球的課題の現状について捉えることができるか【知識・技能】 ・各学習内容の基本知識が身に付いているか【知識・技能】
7月 8月 9月	現代世界の地誌的考察 ・現代世界の地域区分 ・現代世界の諸地域(アジア・アフリカ・ヨーロッパ・ロシア)	・地域区分 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア	20	○ ○ ○ ・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・世界の諸地域における地理的状況についての確に考察し、その問題点について自分なりに表現できているか【思考力・表現力】 ・様々な地球的課題とその対策について考察し、表現できている【思考力・表現力】 ・資料や統計をもとに、様々な地球的課題の現状について捉えることができるか【知識・技能】 ・各学習内容の基本知識が身に付いているか【知識・技能】
10月 11月 12月	現代世界の諸地域(アンタロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニア) 現代世界におけるこれからの日本の国土像 ・持続可能な国土像の探求	・アンタロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア ・現代世界と日本	20	○ ○ ○ ・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・様々な地球的課題とその対策について考察し、表現できている【思考力・表現力】 ・現代世界の諸問題や日本の諸問題について、現状を捉えながら自らの考えをまとめ、表現できているか【思考力・表現力】 ・資料や統計をもとに、様々な地球的課題の現状について捉えることができるか【知識・技能】 ・各学習内容の基本知識が身に付いているか【知識・技能】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
地理歴史	応用世界史	2単位	3年次	E2
教科書	詳説 世界史(山川出版社)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。				
②世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。				
③世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。また、歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるか。	世界の歴史から課題や意義を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特徴を多面的・多角的に考察し、そうした考察の結果を適切に表現しているか。	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲をもって追求するとともに、国際社会に主体的に生き、社会を形成する市民として自覚を持って責務を果たそうとする意識をもっているか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、意欲的に課題に取り組むことができる。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他の者の指導のもと、課題に取り組むことができる。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、課題への取り組みも消極的である。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、表現することができる。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、表現することができる。	学習内容に関する自らの意見を考察し、表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートを実施する際に工夫の跡が見られ、発問やグループワークの際に建設的な意見を述べている。	ワークシート・グループワークに意欲的に取り組み発問に答えようとしている。	ワークシート・グループワークに意欲的に取り組むことができず、発問に対して消極的である。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4月 5月 6月 7月 8月	諸地域の結合・変容	産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 アジア諸地域の動揺	25	○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか(思考力・表現力) ・資料をもとに、世界各地の古代史の特徴を捉えることができるか(知識・技能) ・各地の古代史と西アジア・ヨーロッパの中世に関する学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
9月 10月 11月	諸地域の結合・変容	帝国主義とアジアの民族運動 第一次世界大戦と世界の変容 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	25	○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか(思考力・表現力) ・資料をもとに、各地の中世の様子を捉えることができるか(知識・技能) ・各地の中世から近世に関する学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】
12月 1月	地球世界の課題	冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界	10	○ ○	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・グループワークに積極的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・「問い」に対して自らの言葉でその答えを導き出し、まとめることができるか【思考力・表現力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか(思考力・表現力) ・資料をもとに、近世から近代初期の世界の様子を捉えることができるか(知識・技能) ・各地の近世から近代初期に関する学習内容の基本知識が身についているか【知識・技能】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
	応用日本史	2単位	3年次	E2 E5
教科書	詳説日本史 改訂版			
副教材等	使用なし			
① 科目の目標(学習指導要領) 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
我が国の近現代の歴史について深く理解しており、諸資料から様々な情報を得て適切に判断することができる。	我が国の近現代の歴史の概要・現代につながる課題について深く考え、自らの考えを文章や資料等で分かりやすく表現することができる。	我が国の近現代の歴史の諸事象について、自ら追求しようとする意識を持ち、授業や課題に取り組んでいる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を十分に理解し、適切な判断ができている。	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、判断ができている。	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、適切な判断もできない。
②思考力 表現力	学習内容に関して、多面的・多角的に考察したり課題解決に向けて構想したことを、自らの言葉で効果的にまとめ、文章や資料で表現することができる。	学習内容に関して、考察・構想したことを自らの言葉でまとめ、文章や資料で表現することができる。	学習内容に関する自らの意見を考察し、文章や資料で表現することができない。
③学びに向かう力	ワークシートや課題を実施する際に工夫の跡が見られ、ペアワーク・グループワーク時に建設的な意見を述べている。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組んでいる。	ワークシートや課題・ペアワーク・グループワークに意欲的に取り組むことができない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目	評価のポイント(規準)
4 5 6	近世から近代へ 近代国家の成立 近代国家の展開	開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制	20	① ②	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができているか【知識・技能】 ・授業内容についての基本知識が身についているか【知識・技能】
7 8 9 10 11 12 1	近代の産業と生活 恐慌と第二次世界大戦	近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	40	① ②	・ワークシートの内容に意欲的に取り組んでいるか【学びに向かう力】 ・学習内容に対する自らの考えをまとめ、表現することができるか【思考力・表現力】 ・資料をもとに、適切な判断ができているか【知識・技能】 ・授業内容についての基本知識が身についているか【知識・技能】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	応用物理	2単位	3年次	E3群
教科書	高等学校 物理(183第一 物理709) 2年次使用			
副教材等	新課程版 セミナー物理(第一学習社) 2年次使用 新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 物理(数研出版)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
運動・熱力学についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動・熱力学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
波についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	波について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	波に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
電磁気についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	電磁気について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	電磁気に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
原子核物理についての観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	原子核物理の特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について、問題を見いだし、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	原子核物理とその利用に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく説明することができる。	物理現象について正しく理解している。	物理現象について正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。	物理現象について正しく表現することができる。	物理現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の周りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目	①	②	評価のポイント(規準)
4 5 6	平面内の運動の応用	・平面内の運動 ・放物運動 ・剛体・モーメント ・力積・運動量	15	○	○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物体の運動の応用	・円運動 ・単振動 ・万有引力 ・気体の法則	15	○	○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	波の応用	・波の伝わり方 ・音 ・光	15	○	○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	電気の応用	・電場と電位 ・電流 ・電流と磁場 ・電磁誘導と電磁波	15	○	○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	応用化学	2単位	3年次	E5群
教科書	化学 Vol.1 理論編(東書・化学701)/化学 Vol.2 物質編(東書・化学702)			
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学(数研出版) 2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 化学(ランズ) ニュースコープ化学実験(東京書籍)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
物質の状態と平衡について、物質の状態とその変化、溶液と平衡についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質の状態と平衡について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	物質の状態と平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の変化と平衡について、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の変化と平衡について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の変化と平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
無機物質の性質について、無機物質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	無機物質の性質について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	無機物質の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
有機化合物の性質について、有機化合物、高分子化合物の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	有機化合物の性質について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	有機化合物の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目	評価のポイント(規準)
4 5 6	物質の状態と平衡の応用	・物質の状態とその変化 ・溶液と平衡	18 ① ②	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物質の変化と平衡の応用	・化学反応とエネルギー ・化学反応と化学平衡	18 ① ②	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	無機物質の性質の応用	・無機物質	12 ① ②	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	有機化合物の性質の応用	・有機化合物 ・高分子化合物	12 ① ②	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の回りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の回りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	応用生物	2単位	3年次	E3群
教科書	生物(104数研 生物704) 2年次使用			
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 生物(数研出版) 2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 生物(ランズ)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生物の進化について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	生物の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生命現象と物質について、細胞と分子の関係、代謝などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子の関係、代謝の特徴を見いだして表現している。	生命現象と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
遺伝情報の発現と発生について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、その関係性を見いだして表現している。	遺伝情報の発現と発生に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生物の環境応答・生態と環境について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の環境応答・生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、その関係性を見いだして表現している。	生物の環境応答・生態と環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく説明することができる。	生物現象について正しく理解することができる。	生物現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	生物現象について正しく表現することができる。	生物現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の周りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実施評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4 5	生物の進化の応用	・ 生命の起源と細胞の進化 ・ 遺伝子の変化と進化の仕組み ・ 生物の系統と進化	12 ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
6 7	生命現象と物質の応用	・ 細胞と分子 ・ 代謝	12 ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9	遺伝情報の発現と発生の応用	・ 遺伝情報とその発現 ・ 発生と遺伝子発現 ・ 遺伝子を扱う技術	12 ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	生物の環境応答の応用	・ 動物の反応と行動 ・ 植物の環境応答	12 ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	生態と環境の応用	・ 個体群と生物群集 ・ 生態系	12 ○ ○	・ 実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・ 身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・ 自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	化学	5単位	3年次	D3/E4
教科書	化学 Vol.1 理論編(東書・化学701)/化学 Vol.2 物質編(東書・化学702)			
副教材等	新課程版 セミナー化学基礎+化学(第一学習社) 新課程二訂版 スクエア最新図説化学(第一学習社)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
物質の状態と平衡について、物質の状態とその変化、溶液と平衡についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質の状態と平衡について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	物質の状態と平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の変化と平衡について、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の変化と平衡について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の変化と平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
無機物質の性質について、無機物質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	無機物質の性質について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	無機物質の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
有機化合物の性質について、有機化合物、高分子化合物の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	有機化合物の性質について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	有機化合物の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の周りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4 5 6	物質の状態と平衡	・物質の状態とその変化 ・溶液と平衡	45 ○	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物質の変化と平衡	・化学反応とエネルギー ・化学反応と化学平衡	45 ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	無機物質の性質	・無機物質	30 ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	有機化合物の性質	・有機化合物 ・高分子化合物	30 ○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	応用物理基礎	2単位	3年次	E2
教科書	新編 物理基礎(啓林館 物基306) 1年次で使用			
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 物理基礎(数研出版)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
運動についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	物体の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
波についての観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	波について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	波に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
電気についての観察、実験などを通して、物質と電気抵抗、電気の利用について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	電気について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	電気に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
さまざまなエネルギーの特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について理解している。	さまざまなエネルギーの特性や利用、放射線の種類や性質、放射性物質の基本的な性質について、問題を見いだし、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。	エネルギーとその利用に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく説明することができる。	物理現象について正しく理解している。	物理現象について正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。	物理現象について正しく表現することができる。	物理現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の周りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4 5 6	物体の運動の応用	・物体の運動 ・等加速度直線運動 ・力と運動 ・運動の法則	15 ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8 9	物体の運動の応用	・運動方程式 ・仕事 ・力学的エネルギー ・熱	15 ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
10 11	波の応用	・波とは ・音波	15 ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	電気の応用	・電気とエネルギー	15 ○	・実験結果を観察し、物理現象について理解し、物理量について正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、式を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	応用化学基礎	2単位	3年次	E2,E3
教科書	化学基礎(東書,化基701) 2年次使用			
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学基礎(数研出版) 2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 化学基礎(ラーンス)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
化学と物質について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学と物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の構成粒子・物質と化学結合について、原子の構造、電子配置と周期表、イオン、結合の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子・物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の構成粒子・物質と化学結合に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質と化学反応式について、物質、化学反応式、酸・塩基、酸価と還元の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の周りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目	評価のポイント(規準)
4 5 6 7	化学と人間生活の応用	・化学と物質	24	① ○ ・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9 10 11	物質の構成の応用	・物質の構成粒子 ・物質と化学結合	24	① ○ ・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	物質の変化とその利用の応用	・物質と化学反応式 ・化学反応 ・化学が拓く世界	12	① ○ ・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	応用生物基礎	2単位	3年次	E1,E2
教科書	生物基礎(104数研_生基707)_1年次使用			
副教材等	新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 生物基礎(数研出版) 2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 生物基礎(ラーンス)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生物の特徴・遺伝子について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の特徴・遺伝子について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	生物の特徴・遺伝子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
神経系と内分泌系による調節・免疫について、情報の伝達、体内環境の維持の仕組みの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	神経系と内分泌系による調節・免疫について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現している。	神経系と内分泌系による調節・免疫に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
植生と遷移・生態系について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	植生と遷移・生態系について、観察、実験などを通して探究し、植生と環境との関係性を見いだして表現している。	植生と遷移・生態系に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく説明することができる。	生物現象について正しく理解することができる。	生物現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	生物現象について正しく表現することができる。	生物現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の周りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目	①	②	評価のポイント(規準)
4 5 6 7	生物の特徴の応用	・生物の特徴 ・遺伝子とその働き	24	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9 10 11	ヒトの体の調節の応用	・神経系と内分泌系による調節 ・免疫	24	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1	生物の多様性と生態系の応用	・植生と遷移 ・生態系とその保全	12	○	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	化学基礎	3単位	3年次	D2
教科書	化学基礎(東書・化基701)			
副教材等	ニュースステップアップ化学基礎(東京書籍)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
(3) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
化学と物質について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学と物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質の構成粒子・物質と化学結合について、原子の構造、電子配置と周期表、イオン、結合の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子・物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の構成粒子・物質と化学結合に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
物質量と化学反応式について、物質量、化学反応式、酸・塩基、酸価と還元の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質量と化学反応式について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質量と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について理解し、正しく理解することができる。	化学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	化学現象について正しく表現することができる。	化学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の回りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目	評価のポイント(規準)
				① ②	
4 5 6 7	化学と人間生活	・化学と物質	33	○	・実験結果を観察し、化学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
8 9 10 11	物質の構成	・物質の構成粒子 ・物質と化学結合	33	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	物質の変化とその利用	・物質量と化学反応式 ・化学反応 ・化学が拓く世界	24	○	・実験結果を観察し、生物現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
理科	地学基礎	3単位	3年次	D2
教科書	高等学校 地学基礎(数研・地基704)			
副教材等	新課程 リードα地学基礎(数研出版)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
① 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。				
② 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				
③ 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
惑星としての地球について、地球の形と大きさ、地球内部の層構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	惑星としての地球について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	惑星としての地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
活動する地球について、プレート運動、火山活動と地震の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	活動する地球について、観察、実験などを通して探究し、活動する地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	活動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。	大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
地球の変遷・環境について、宇宙、太陽系と地球の誕生、古生物の変遷と地球環境、日本の自然環境の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球の変遷・環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷について、規則性や関係性を見いだして表現している。	地球の変遷・環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について理解し、正しく理解することができる。	地学現象について、正しく理解することができない。
②思考力 表現力	身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。	地学現象について正しく表現することができる。	地学現象について正しく表現することができない。
③学びに向かう力	自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。	身の周りの現象と関連付けたり、理解しようとする態度が見られる。	理解しようとする態度が見られない。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4 5 6	地球のすがた	・惑星としての地球 ・活動する地球 ・大気と海洋	24 ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
7 8	地球のすがた	・大気と海洋	16 ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
9 10 11	変動する地球	・地球の変遷	24 ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】
12 1 2 3	変動する地球	・地球の環境	24 ○ ○	・実験結果を観察し、地学現象について理解し、正しく理解することができる。【知識技能】 ・身の周りで観察できる例をあげて、用語を用いて表現できる。【思考力・表現力】 ・自らから興味を持ち、身の周りの現象と関連付けたり、意欲的に解明しようとする態度が見られる。【学びに向かう力】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
英語	英語コミュニケーションⅢ	3単位	3	必修
教科書	CREATIVE English Communication Ⅲ (第一学習社)			
副教材等	CREATIVE English Communication Ⅲ 予習・授業ノート(第一学習社) 英単語ターゲット1400 授業プリント			
① 科目の目標(学習指導要領) 英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技術を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	確認テストや小テストで概ね8割以上の成績	同左概ね3割以上8割未満の成績	同左3割に満たない成績
②思考力 表現力	パフォーマンステスト・英作文で概ね8割以上の成績	同左概ね3割以上8割未満の成績	同左3割に満たない成績
③学びに向かう力	課題等の提出物が10割	同左5割以上の提出	同左5割に満たない

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実施 時期	評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
通年	英単語ターゲット1400、毎週ごと的小テスト、年5回の英単語コンクール	左記の単語帳より毎週50～100個の単語を小テストで出題する。		○	
4・5月	Lesson1 Lesson2	・日本と世界の高速鉄道の発達について理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・世界の水問題を解決する日本の技術について内容を整理して伝えることができる。	18	○	予習復習ノートに取り組んでいる・英単語課題プリントの提出【学びに向かう力】 評価問題への取り組み姿勢、意見文や創作等の演習において、英語で自分の考えを伝えようとする姿勢。【知識 技能】 本文の内容を理解し、整理して伝えることができる【思考・判断・表現】
6・7月	Lesson3 Lesson4	・アスリートが発する社会的なメッセージについてその内容を整理して伝えることができる。 ・赤ちゃんの言語習得について内容を整理して伝えることができる。	22	○	予習復習ノートに取り組んでいる・英単語課題プリントの提出【学びに向かう力】 評価問題への取り組み姿勢、意見文や創作等の演習において、英語で自分の考えを伝えようとする姿勢。【知識 技能】 本文の内容を理解し、整理して伝えることができる【思考・判断・表現】
8・9・10月	Lesson5 Lesson6	・社会のデジタル化についてその内容を整理して伝えることができる。デジタル文書と紙の文書のどちらが好きか自分の考えを述べることができる。 ・人類と病気の戦いの歴史について的確に理解し、その内容を伝えることができる。	30	○	予習復習ノートに取り組んでいる・英単語課題プリントの提出【学びに向かう力】 評価問題への取り組み姿勢、意見文や創作等の演習において、英語で自分の考えを伝えようとする姿勢。【知識 技能】 本文の内容を理解し、整理して伝えることができる【思考・判断・表現】
11・12・1月	Lesson7 Lesson8	・スポーツ栄養についての的確に理解しその内容を整理して伝えることができる。 ・橋の構造と役割について自分の考えを説明することができる。	20	○	予習復習ノートに取り組んでいる・英単語課題プリントの提出【学びに向かう力】 評価問題への取り組み姿勢、意見文や創作等の演習において、英語で自分の考えを伝えようとする姿勢。【知識 技能】 本文の内容を理解し、整理して伝えることができる【思考・判断・表現】

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
英語	応用英語 $\alpha \cdot \beta$	3(E1は2)	3年次	D1.D2.D3.E1
副教材等	「Rapid Reading Level3」 「共通テスト英語 リーディングオリジナル問題集 TACTICS 10」 「共通テスト英語リーディングオリジナル問題集 TACTICS 10」 「共通テスト英語リーディングオリジナル問題集 TACTICS 10」 「共通テスト英語リーディングオリジナル問題集 TACTICS 10」			
① 科目の目標(学習指導要領)				
・読解や音読の練習を通して、特に「読む力」「理解する力」を身に付け、大学入試共通テストのリーディング問題に対応できる能力を養う。 ・様々な分野の英語長文に触れ、その内容や表現に慣れ、大学入試共通テストのリーディング問題に対応できる能力を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
基本的な英文を理解できる	様々な英文を読むことにより内容を理解する力を身につけることができた	受験に向け覚えておきたい英単語小テストへの取り組み状況
問題の支持や、選択肢などの英文を読みながら素早く理解できる	速読教材を読むことにより、読解力と速読力が高まった。	異なる文化に興味を持ち理解しようとする
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割を理解できた	様々な問題を読むことにより、様々な文化や考え方が理解できた。	復習に手をかけているかを課題の提出状況により判断します

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった
②思考力 表現力	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった
③学びに向かう力	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つできた	上記3つの観点について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目		評価のポイント(規準)
			①	②	
前期	Rapid Readingと Tactics 10	毎活動ごと計時をして時間内で英文を読み解答を完成させる習慣を身に付ける	48 (34)	○	上記の3観点について主に購読の活動と単元テストにより評価します
後期	Final Spurt80	実際の共通テストに対応した問題に取り組むことで限られた時間を有効に活用する習慣を身に付ける	42 (26)	○	上記の3観点について主に購読の活動と単元テストにより評価します

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
	英語研究	2単位	3年次	E1
教科書				
副教材等	・NEWSBRAKS for STANDARD English Learners 2023 (エミル出版) ・Aim HighVol.2 (美誠社) ・Listening Essentials3 (啓隆社)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
①英文読解を通して、言語や文化に対する理解を深めるとともに、高度な読解力とリスニング力を身につける。 ②時事問題や世界のニュース記事を英文で読み、地球や世界の現状の理解を深め、未来について考えをもったり、意見したりする力を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
英語によるコミュニケーションに必要な基本的知識、語彙や文法を習得した	関心あることや経験について述べるができる	英語コミュニケーションに必要な基本的知識、語彙や文法を習得しようとした
英検2級レベル以上の英文を初見で読んで概要を理解し、必要な情報を得ることができた	与えられたテーマについて意見を述べるができる	異なる文化に興味を持ち、理解しようと努力している
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解しながら会話を楽しむことができる	様々な問題を読むことにより、多様な文化や考え方が理解できる	積極的に英語でコミュニケーションを図ろうと努力している
世界の時事問題や多様な課題に興味を持ち、自らの考えを意見することができる	文章構成を意識して100語程度の英文のを書くことができる	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つを達成した	上記の項目について達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目の2つを達成した	上記の項目について達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目の2つを達成した	上記の項目について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	評価項目	①	②	評価のポイント(規準)
4 5	1.Sports 2.Politics 3.Music 4.Society 5.Economy	Half the day in bed! When leaders meet Believe in yourself Fighting for freedom Japan is open again	12	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト
6 7	6.Energy 7.Technology 9.Environment 10.Space	The future of cars Sustainable Materials Saving the Amazon Aiming for the moon Deep-Sea mining	12	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト
8 9	1.Dolphins 2.Science Cafe 4.Diet 6.Language 8.History	動物行動学/イラスト・グラフを選ぶ 生涯学習/人物の特徴を的確に把握する 食生活/要旨を的確に把握する 言語/グラフや表の情報を聞き取る 産業革命/情報と資料を組み合わせて判断する	12	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト
10 11	11.Education 14.Evolution 15.Sun 16.Medical	過保護/会話文の要旨を的確に把握する 人類の進化/条件に基づき複数の情報を比較 太陽と文化人類学/読み上げ文の要旨把握 経口免疫療法/資料を見ながら情報を検索する	14	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト
12 1	17.Babies 18.Economy 19.Technology 20.Nature	赤ん坊と言語/ 経済政策/聞いた情報をまとめる 人間とロボット/討論の話者の意見を把握する 気候変動/情報を整理しながら聞く	10	○	○	・授業での取り組み ・課題、レポートの取り組み ・単元テスト ・パフォーマンステスト

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)				
教科	科目	単位数	開設年次	選択群
国語	ブラクティカルイングリッシュ	2単位	3年次	C E5
教科書				
副教材等	美誠社リスニング・エース10 UPGRADED 3訂版 啓隆社Listening Essentials 2.5 五訂版 文英堂2025 大学入学共通テスト英語(リスニング)実践模試 Final Spurt 30			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1)リスニングや音読の練習を通して、英会話表現、特に「聞く力」を身につけ、大学入学共通テストのリスニング問題に対応できる能力の向上				
(2) 会話表現を学び、その表現を自分自身の会話に応用できる能力の向上				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
基本的な会話表現を理解できた	様々な英語の会話や音声を多く聞くことにより、内容を理解する力が身についた。	英語コミュニケーションに必要な基本的な知識や文法を習得しようと努力した。
関心あることや自分の経験を伝えるための語彙力が身についた	様々な問題を読み、聞くことにより、英語で考え、話そうとする力が身についた。	異なる文化に興味を持ち、理解しようと努力した。
英語の発音、アクセントに留意して聞き、発言できた。	様々な問題を読むことにより、様々な文化や考え方があることを理解できた。	積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとする姿勢が身についた。
問題の指示や、選択肢などの英文を読みながら素早く理解できた	速読教材を読むことにより、読解力と速読力が高まった。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記4つの観点のうち3つ以上できた	上記4つの観点のうち3つ以上できた	上記3つの観点について達成できなかった
②思考力 表現力	上記4つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点について達成できなかった
③学びに向かう力	上記4つの観点のうち2つ以上できた	上記3つの観点のうち1つ以上できた	上記3つの観点について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準			
月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②
4月	Lesson1 Lesson9 Lesson17	共通テストの第1問形式に慣れ、正しく聞き取り、選択肢を素早く理解する力を身につける	4 ○語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
5月	Lesson2 Lesson10 Lesson19	共通テストの第2問形式に慣れ、正しく聞き取り、選択肢を素早く理解する力を身につける	5 ○語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
6月	Lesson3 Lesson11 Lesson21	共通テストの第3問形式に慣れ、正しく聞き取り、与えられた図やグラフを見ながら正答を見出す力を養う	7 語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
7月	Lesson4 Lesson12 Lesson22	共通テストの第4問A形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7 語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
8月	Lesson5 Lesson13 Lesson23	共通テストの第4問B形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7 ○語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
9月	Lesson6 Lesson14 Lesson24	共通テストの第5問形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7 語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
10月	Lesson7 Lesson15 Lesson25	共通テストの第6問A形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7 語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
11月	Lesson8 Lesson16 Lesson26	共通テストの第6問B形式に慣れ、比較的長い音声を正しく聞き取り、質問の答えを正しく見出す力を養う	7 ○語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)
12月 1月	Final spurt30	実践問題演習で総合的な実力を身につける。30分聴き続ける集中力を養う。	9 ○語彙・表現の理解度(小テスト、確認テスト) ACE10の問題集への取り組み状況(テキスト) リスニング技能力(確認テスト、演習問題)

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
英語	教養英語	2単位	3	E1
教科書	なし			
副教材等	アクセル英語総合問題集3rd edition course d 授業プリント			
① 科目の目標(学習指導要領)				
(1)様々な文章(読説文・物語文)を通し、内容や構成を的確にとらえる力を身につける。				
(2)読解に必要なとされる語彙や語法、文法などを理解し、活用できる。				
(3)文章の背景にある文化や社会生活などへの理解を深め、より深く作品を理解する態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
〔読むこと〕 ・文法項目、語彙を身に付けている。 ・文章全体の構成や展開を理解しながら、読むことができる。	〔読むこと〕 ・身に付けた文法項目、語彙を活用して、英文を理解することができる。	〔読むこと〕 ・身に付けた文法項目、語彙を活用して、英文を読み取ろうとしている。
〔聞くこと〕 ・文法項目、語彙を身に付けている。 ・文章全体の構成や展開を理解しながら、聞くことができる。	〔聞くこと〕 ・身に付けた文法項目、語彙を活用して、英文を理解することができる。	〔聞くこと〕 ・身に付けた文法項目、語彙を活用して、英文を聞こうとしている。
〔書くこと〕 ・文法項目、語彙を身に付けている。 ・文章全体の構成や展開を意識しながら、英文について要約を書くことができる。	〔書くこと〕 ・身に付けた文法項目、語彙を活用して、英文について自分の考えを書くことができる。	〔書くこと〕 ・身に付けた文法項目、語彙を活用して、英文についての要約や自分の考えを書こうとしている。
〔話すこと〕 ・文法項目、語彙を身に付けている。 ・文章全体の構成や展開を意識しながら、英文について要約を発表することができる。	〔話すこと〕 ・身に付けた文法項目、語彙を活用して、英文について自分の考えを発表したり、相手の意見について質問するなどやりとりすることができる。	〔話すこと〕 ・身に付けた文法項目、語彙を活用して、要約や自分の意見を発表したり、相手の質問について質問するなどやりとりしようとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の観点について、80%以上達成できている	上記の観点について、40%以上～80%未満達成し	上記の観点について、達成度が40%未満である
②思考力 表現力	上記の観点について、80%以上達成できている	上記の観点について、40%以上～80%未満達成し	上記の観点について、達成度が40%未満である
③学びに向かう力	上記の観点について、80%以上達成できている	上記の観点について、40%以上～80%未満達成し	上記の観点について、達成度が40%未満である

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目	評価のポイント(規準)
			①	②	
通年		・速読問題やリスニングを通じて、英語の長文や音声による情報を適切に捉える力を養う ・既習の文法項目を活用して、自分自身や社会について英語を話したり、書いたりする力を養う	60	○	問題集の問いに適切に解答ができる【知識・技能】 既習の語彙や文法項目を活用して、話したり、書いたりすることができる【思考・判断・表現】 問題集に真摯に取り組むことができる、積極的に英語で会話をしようとしている【学びに向かう力】
4・5月	Lesson1 Lesson2 Lesson3	エッセイ「新しい車椅子の表示」 説明文「コウモリの生態」 説明文「チョコレート の歴史」	15	○	時制、時・条件の副詞節を理解し、活用できる。 助動詞、様々な受動態を理解し、活用できる。 動名詞、分詞の後置修飾、分詞構文を理解し、活用できる。 ※授業中の取り組み、課題提出、単元テストで評価する。
6・7月	Lesson4 Lesson5 Lesson6	物語「老婦人と娘」 説明文「ペットとしての猫の歴史」 エッセイ「ハロウィーン」	15	○	自動詞+to do、be動詞+to do、不定詞を理解し、活用できる。 数値、less、more、otherを用いた表現を理解し、活用できる。 関係代名詞、複合関係詞、継続用法を理解し、活用できる。
8・9・10月	Lesson7 Lesson8 Lesson9	エッセイ「発展途上国の女子教育」 説明文「海底の魅力」 エッセイ「落書き防止のアイデア」	15	○	関係副詞、複合関係詞を理解し、活用できる。 Ifが出てこない仮定法、慣用表現を理解し、活用できる。 時制の一致、話法、話法の転換を理解し、活用できる。 ※授業中の取り組み、課題提出、単元テストで評価する。
11・12・1月	Lesson10 Lesson11 Lesson12	エッセイ「ノートテイキング」 説明文「クローン羊のドリー」 説明文「十分な睡眠の必要性」	15	○	muchとmany、littleとfew、agoとbeforeを理解し、活用できる。 不定詞と動名詞、自動詞と他動詞を理解し、活用できる。 部分否定、二重否定、慣用表現を理解し、活用できる。 ※授業中の取り組み、課題提出、単元テストで評価する。

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
保健体育	体育	2単位	3	必修
教科書	現代高等保健体育(50 大修館 保体701)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の多様性や喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意識を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
それぞれの技術の名称と動きのポイント、戦術の特徴を理解しているか。	集団や自己の動きを分析して、良い点や修正点などを出せるか。	フェアプレーを大切にし、安全に練習したりゲーム等をすることができたか。
それぞれの役割に応じた身体及び道具の操作をすることができるか。	課題解決の過程を踏まえて、集団や自己の新たな課題を発見することができるか。	練習やゲーム等に主体的に取り組み、仲間との信頼関係を深め、互いに助けあい高め合うことができたか。
フォーメーションや戦術を学び、ゲーム等を行うことができるか。	個人あるいは仲間とともにスポーツを楽しむための調整の仕方を見つけることができたか。	用具の準備や後片付け、審判などの役割を主体的に行い、責任を果たすことができたか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
②思考力 表現力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
③学びに向かう力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目		評価のポイント(規準)
			①	②	
4	オリエンテーション 体づくり運動(男女) 集団行動(男女) 体育理論(男女)	授業の心得 筋力トレーニング、ストレッチング 隊列変換、行進 ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方	1 3 2	☐ ☐ ☐	授業に関するルールについての説明。話を聞く態度。 体力テストに活かせるよう強度を段階的に上げていけるか。 基礎技術を学び、全体の中で活かせるか。 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解すること。
5	体力テスト(男女)	握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、上体おこし、50m走、持久走、ボール投げ	5	☐	正しい測定方法で実施しているか、周りと協力しているか。
6	サッカー(男子)		15	☐	基礎技術を大切にし、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。
7	バレーボール(女子)	パス、トス、レシーブ、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム		☐	準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
8	第1期 選択制	サッカー・バスケットボール・バレーボール・ソフトテニスから1種目選択	14	☐	基礎技術を大切にし、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。
9	体育理論(男女)		2	☐	準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
10	第2期 選択制	バドミントン・バレーボール・卓球・ダンスから1種目選択	14	☐	基礎技術を大切にし、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。
11					準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
12	体育理論(男女)		2	☐	準備や後片付け、相手の敬う気持ちを大切にしているか。
1		家庭学習期間			
2					
3					

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
家庭	フードデザイン	2単位	3年次	E1,E5
教科書	フードデザイン(実教出版)			
副教材等	オールガイド食品成分表2025(実教出版)			
① 科目の目標(学習指導要領)				
1 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う立場として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

評価の観点

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③学びに向かう力・人間性
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し、実践できる技術を習得している。	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め、食生活の充実向上を目指して自らの課題を発見するとともに、家庭や地域の実情に合わせてより豊かな食生活を創造することによって、課題を解決できる。	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作るところから食べるところまで総合的に捉えて、主体的に計画、実践することができる。また、習得した知識や技術を家庭や地域で積極的に活用することにより、食育の推進に他と協働して取り組むことができる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価方法	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識・技能 (基本的な知識・技能の習得)	学習プロセス、ポートフォリオ、ワークシート、授業発表等	学習内容を深く理解し、意欲的に学習活動に取り組むとともに、技能を十分身に付けている。(達成率:85%以上)	基礎的な学習内容を理解し、学習活動に取り組むとともに、技能を身に付けている。(達成率:40%以上)	基礎的な学習内容が理解できず、技能の定着が不十分である。(達成率:40%以下)
②思考力・判断力・表現力(知識の活用、解決する力)	ワークシート、レポート、授業発表、定時テスト等	課題に対して様々な視点から考察し、根拠や理由等を示しながら論理的に自分の考えをまとめることができる。	課題に対して考察し、自分の考えをまとめることができる。	課題に対して、自分の考えをまとめることができないが不十分である。
③学びに向かう力・人間性(どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	授業中の様子、グループ学習の様子、ワークシートの表現や口元	進んで学ぶ意欲を持ち、自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、他者の価値観を尊重しながら、主体的且つ協働的に参画、実践しようとしている。	自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、主体的且つ協働的に参画、実践しようとしている。	自分や家庭、地域社会の充実向上を図るために、参画、実践しようとしているが不十分である。

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	第1章 食生活と健康	食事の意義と役割 食を取り巻く現状	6				◆各章の学習内容や語句の意味を理解し、資料を読み取ることができる。【知識・技能】 ◆課題や解決策を考察し、ワークシートやレポートにまとめている。【思考力・判断力・表現力】 ◆グループワークでは他の人の意見を聴いたり発言したりして、意欲的に授業や実習に参加している。【学びに向かう力・人間性】
5	第2章 栄養素のはたらきと食事計画	栄養素、ライフステージと栄養、食事摂取基準と食事計画	6				
6	第3章 食品の特徴・表示・安全	様々な食品、生産と流通、選択と表示、食中毒	6	○	○	○	
7	第4章 調理の基本	調理操作	7				
8	成分表の使い方		3				
9	第5章 料理様式とテーブルコーディネート	料理様式と献立とテーブルコーディネート(和食、洋食、中華)	5				◆各章の学習内容や語句の意味を理解し、資料を読み取ることができる。【知識・技能】 ◆課題や解決策を考察し、ワークシートやレポートにまとめている。【思考力・判断力・表現力】 ◆グループワークでは他の人の意見を聴いたり発言したりして、意欲的に授業や実習に参加している。【学びに向かう力・人間性】
10	第7章 食育	食育の意義と推進活動	3				
11	※調理実習はその都度計画する		22	○	○	○	
12							
1		献立作成、ホームプロジェクト	2				

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
商業	応用情報	2単位	3年次	E3,E4
教科書	最新情報Ⅰ			
副教材等	ベストフィット情報Ⅰ			
① 科目の目標(学習指導要領)				
情報Ⅰについて、発展的な知識の習得と技能の習熟を図ることによって、やや複雑な事象を多面的に考察し、情報社会に関係する問題解決能力や考え方、実践力を育てる。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
情報社会における問題点を的確に理解し、対策する能力を身につけている。	問題解決に向けた方法、対策に至る方法を的確に理解し、実践する方法を理解している。	課題等への取り組み 提出状況
情報セキュリティの重要性を理解し、適切な対策する能力を身につけている。	ネットワークにおけるセキュリティの脆弱性を理解し、対応する方法を理解している。	授業の予習や準備に対する取り組み
モデル化とシミュレーションを利用し、問題解決する能力を身につけている。	モデル化による問題解決、シミュレーションによる問題発見方法を理解している。	グループワークやペアワーク等への積極的な取り組み

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%以下
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%以下
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加30%以上	提出物状況・授業への参加30%以下

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4 5	情報社会と問題解決能力	・情報社会と問題解決 ・情報セキュリティと法規 ・知的財産権 ・安全のための対策と技術	10 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	問題解決能力についての理解 法規の理解 安全対策技術の理解
6 7	コミュニケーションと情報デザイン	・情報デザインの基礎 ・情報デザインの活用 ・デジタル化された情報とその表し方 ・メディアのデジタル化	10 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 15 ○ ○	メディアの種類や発達の理解 情報発信者としての資質の理解 表現者としての資質の理解
8 9 10	コンピュータとプログラミング	・論理演算 ・コンピュータの構成と動作 ・コンピュータの性能 ・モデル化とシミュレーション ・プログラミング	15 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	アルゴリズムの理解 モデル化を用いた問題解決の理解 シミュレーションを利用した問題解決方法の理解 プログラミング手法の理解
11 12 1	情報通信ネットワークとデータの活用	・インターネットの仕組み ・様々な情報システム ・情報システムを支えるデータベース ・データの収集と整理 ・データの扱いと処理	10 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	情報通信ネットワークの構成を理解 情報収集と管理に関する適切な方法を理解 問題解決能力の向上と解決方法の手順の理解

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
商業	情報処理	2単位	3年次	E2
教科書	最新情報処理			
副教材等	ビジネス文書1級問題集			
	情報処理2級ビジネス情報部門問題集			
① 科目の目標(学習指導要領)				
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
情報機器やソフトウェアを適切に利用する能力を身につけている。	情報を適切に扱い、受け取る側の状況にも配慮した情報発信する重要性を理解している。	課題等への取り組み 提出状況
情報発信の重要性を理解し、適切な情報発信をする能力を身につけている。	資料を的確に把握し、適切な処理をとおして正確な情報発信する重要性を理解している。	授業の予習や準備に対する取り組み
情報を適切に管理し、視覚的に有効な作表やグラフを作成する能力を身につけている。		グループワークやペアワーク等への積極的な取り組み

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%以下
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%以下
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加30%以上	提出物状況・授業への参加30%以下

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目	評価のポイント(規準)
4 5	企業活動と情報処理	・情報処理の重要性 ・情報モラルと表現 ・コミュニケーションと情報デザイン	10 ① ②	○情報の意義と重要性を説明できる ○情報モラルについて説明することができる ○情報デザインについての技術を身につけている
6 7	コンピュータシステム 情報の集計と分析	・コンピュータシステムの概要 ・ネットワークの仕組み ・インターネットの活用 ・ビジネスと統計 ・関数の利用	15 15	○基本的な構成を理解している ○効率的な検索ができる ○モラルとマナーを身につけている ○情報の重要性について理解している ○関数について理解している
8		・グラフの作成		○基本的な操作ができる
9 10	ビジネス文書と表現	・ビジネス文書と表現 ・基本文書の作成	10	○基本的な操作ができる ○ワープロについての知識と技術を習得している
11 12 1	プレゼンテーション	・プレゼンテーションの技法 ・ビジネスにおける利用 ・総合演習	10	○プレゼンテーションの一連の流れを理解している ○実習問題に取り組む ○ソフトウェアの統合的活用

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
芸術	音楽Ⅱ	2単位	2・3年次	C
教科書	高校生の音楽 2			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領) 音楽の諸活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成するとともに、生涯にわたり音楽を愛好する心情を				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
音楽についての基礎的な知識を習得すること。	音楽の歴史的・文化的背景を知覚し、生み出される音楽を感受すること	課題に対して真摯に向き合い、向上心を持って取り組む。
楽器演奏についての基礎的な技術を習得すること。	習得した知識や技能を駆使して自己表現すること。	生活の中で音楽を身近に感じて楽しむ習慣を身につける。
自ら感受したイメージや気持ちを、言葉で表すこと。	お互いの価値観や個性を認め、音楽の多様性を感じ取ること。	生涯をととして音楽を愛し、親しむ心を育む。
音楽の歴史的・文化的背景を理解すること。	鑑賞によって他者の良さを見つけ、自己の課題への創作意欲につなげられる。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目を1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目を1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目を2つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4. 5月	楽典 ソルフェージュ テーブルパーカッション	1年次既習事項の復習	14	○ 歌詞や音符、休符等の音楽記号、楽典についての理解ができているか
6～8月	鑑賞 グラスハープ クラシックギター	音階について 作音 コード弾き、メロディ弾き	16	○ 正しい音程で演奏できているか 個性を生かしてグループ活動ができているか
9. 10月	歌唱	外国語の歌唱	20	○ 西洋音楽への理解、発音について理解できているか
11～1月	鑑賞 創作 文化等	ポピュラー音楽史 前奏の創作と基本奏法	10	○ 様々な音楽や楽器、ジャンルについて理解できているか 楽器の扱い方を理解し、音への興味が湧いているか
2. 3月	創作	動機に基づいた楽曲の創作 (DTM)	10	○ 作曲法の仕組みを理解しているか

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
芸術	音楽Ⅲ	3単位	3年次	D4
教科書	Joy of Music (教育芸術社)			
副教材等	MUSIC NOTE			
① 科目の目標(学習指導要領)				
音楽の諸活動をとおして、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成するとともに、生涯にわたり音楽を愛好する心情を				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
音楽についての基礎的な知識を習得すること。	音楽の歴史的・文化的背景を知覚し、生み出される音楽を感受すること	課題に対して真摯に向き合い、向上心を持って取り組む。
楽器演奏についての基礎的な技術を習得すること。	習得した知識や技能を駆使して自己表現すること。	生活の中で音楽を身近に感じて楽しむ習慣を身につける。
自ら感受したイメージや気持ちを、言葉で表すこと。	お互いの価値観や個性を認め、音楽の多様性を感じ取ること。	生涯をとおして音楽を愛し、親しむ心を育む。
音楽の歴史的・文化的背景を理解すること。	鑑賞によって他者の良さを見つけ、自己の課題への創作意欲につなげられる。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目を1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目を1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目を2つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目		評価のポイント(規準)
			①	②	
前期	楽典 ソルフェージュ	楽典の総復習 入試問題の演習と解説 ソルフェージュ課題	90	○	楽典への理解 演習の取り組み状況
				○	
後期	創作 入試対策	プレゼンテーション資料の作成 実技練習 入試課題 コード伴奏に基づいた楽曲の創作		○	習熟度、進路別での取り組み状況

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)				
教科	科目	単位数	開設年次	選択群
芸術	鍵盤楽器奏法	2単位	3年次	E3,E4
教科書				
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領) 音楽の諸活動をおして、生涯にわたり音楽を愛好する心情と、音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、鍵盤楽器の演奏技術を身につける。				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
音楽についての基礎的な知識を習得すること。	音楽の歴史的・文化的背景を知覚し、生み出される音楽を感受すること	課題に対して真摯に向き合い、向上心を持って取り組む。
楽器演奏についての基礎的な技術を習得すること。	習得した知識や技能を駆使して自己表現すること。	生活の中で音楽を身近に感じて楽しむ習慣を身につける。
自ら感受したイメージや気持ちを、言葉で表すこと。	お互いの価値観や個性を認め、音楽の多様性を感じ取ること。	生涯をととして音楽を愛し、親しむ心を育む。
音楽の歴史的・文化的背景を理解すること。	鑑賞によって他者の良さを見つけ、自己の課題への創作意欲につなげられる。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目を1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目を1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目を2つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準			実習評価項目		評価のポイント(規準)
月	単元名	主な学習(指導)内容	①	②	
前期	楽典 ピアノ基礎練習 楽曲の練習	習熟度に合わせた楽曲の選択 前期発表会	60	○	楽典への理解 演習の取り組み状況
				○	
後期	ピアノ基礎練習 楽器の構造 楽曲の練習	習熟度に合わせた楽曲の選択 後期発表会		○	習熟度、進路別での取り組み状況

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
美術	美術Ⅱ	2単位	2・3年次	C
教科書	美術2 光村			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
① 描写表現力の向上				
② 基礎的技能と経験を広げ、より深い美的感覚、創造的発想力、構想力を身につける。				
③ 制作と鑑賞を通じ、主体的で個性的な表現力を身につける。				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
美術Ⅱにおける創造的な見方・考え方を働かせることができた。	造形的な見方・考え方を働かせた主題の生成ができた。	美術の創造活動の喜びを味わうことができた。
造形や美術を捉える視点について実感的に理解を深めることができた。	創造的な表現の構想を練ることが出来た。	主体的に造形的な見方・考え方を働かせることができた。
創造的な美術を表現するために必要な技能を身につけることができた。	造形や美術、文化などについて自分の価値意識を持って捉えることができた。	表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする態度を養うことができた。
意図に合わせた材料や用具を用いて、創意工夫した表現力を身につけることができた。	課題における意味や価値を作り出す力を養うことができた。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目の1つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目 ① ②	評価のポイント(規準)
4月	オリエンテーション	美術Ⅱの1年間の授業内容を理解する。 授業に必要な道具等を確認する。	1 ○ ○	1年間の授業内容及び必要な道具の理解。
5月	抽象画	抽象画についての理解を深め、線描から形をみつけて線取り、抽象画のイメージをつける。 モダンテクニックを学び、イラストボードに描画。 イメージを膨らませ着彩する。	10 ○ ○	ランダムな線・図形でバランスよくデザインされているか。 様々な画材・素材の工夫がみられるか。形からのイメージを色彩に表現しているか。
6月				
7月	バラバラ漫画	アニメーションの歴史と、ものが動いて見える仕組みを理解し、単語帳でバラバラ漫画を制作する。	17 ○ ○	動き・画面に工夫がみられるか。 描画が丁寧に滑らかな動きか。 ストーリーに工夫がみられるか。
8月				
9月				
10月	共同制作	グループに別れ、それぞれでテーマを設定し、 テーマをもとに作品のかたちや材料を決定する。 共同制作の楽しさと楽しさを感じる。	16 ○ ○	計画性を持って制作に臨むことができるか。 テーマと作品のデザインにまとまりがあるか。 素材の良さを活かしているか。 素材の特徴を捉え、工夫した立体を構想できているか。
11月	静物着彩	構図を決め、鉛筆で略図を描画する。本番用下書きを作成し着彩していく。	6 ○ ○	形を捉えることができるか。 光と影、色彩のバランスがとれているか。 モチーフの質感を掴んでいるか。 構図のバランスがとれているか。
12月				
1月	飛び出す私の推しPRポップ	広告デザインとして、自分の好きなものや人物を他者に伝えられるようなポップを段ボールに着彩して作る。	12 ○ ○	広告デザインの基礎を理解し、キャッチコピーやフォントを構想しているか。モチーフの良さを見だし、文字やイラストの形や色で表現することが出来ているか。 作品から新たな発想を生み出し、創意工夫のある1枚となっているか。全体のバランスが整っているか。
2月	共同制作(2年)卒業装飾	インスタレーションアートについて学び、自分自身にとっての“卒業”について考え、それを装飾として、他者の気持ちを考えながら具現化する。	4 ○ ○	テーマについて自分自身で考え制作に臨んでいるか。 テーマと作品があっているか。
3月	宗教美術について(鑑賞)	様々な宗教美術作品を鑑賞し、その違いや共通点をさがし、制作背景を考察する。	4 ○ ○	色や形に注目し違いや共通点について考察・理解できているか。 自分自身の考えをワークシートに書いていくか。

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群
美術	美術Ⅲ	3単位	3年次	D3
教科書	美術3 光村			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
① 幅広い創造活動を経験し、生涯に渡り美術を学び楽しむ姿勢を身につける。				
② 鑑賞を通して様々な個性を認め合うコミュニケーション能力				
③ 社会における美術の役割				

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
美術Ⅲにおける創造的な見方・考え方を働かせることができた。	造形的な見方・考え方を働かせた主題の生成ができた。	美術の創造活動の喜びを味わうことができた。
造形や美術を捉える視点について実感的に理解を深めることができた。	創造的な表現の構想を練ることが出来た	主体的に造形的な見方・考え方を働かせることができた。
創造的な美術を表現するために必要な技能を身につけることができた。	造形や美術、文化などについて自分の価値意識を持って捉えることができた。	表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする態度を養うことができた。
意図に合わせた材料や用具を用いて、創意工夫した表現力を身につけることができた。	課題における意味や価値を作り出す力を養うことができた。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目の1つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時間	①	②	評価のポイント(規準)
4月	オリエンテーション	美術Ⅲの1年間の授業内容を理解する。授業に必要な道具等を確認する。	1	○	○	1年間の授業内容及び必要な道具の理解。
	構想デッサン	お題の詩を読んで、一つのモチーフと手を組み合わせ構想デッサンを行う。	10	○	○	構想デッサンについて理解できているか。詩のイメージに合っているか。形を正確に捉えているか。 モチーフを画面にきれいに収められているか。 陰影を意識し、濃淡を調節できているか。
5月	花を贈ろう～つまみ細工～	日本と西洋の花の描き方について違いや共通点を考察しながら鑑賞する。つまみ細工で花を作り、身近な人に送るクラフトデザインを行う。	12	○	○	構想デッサンについて理解できているか。詩のイメージに合っているか。形を正確に捉えているか。モチーフを画面にきれいに収められているか。陰影を意識し、濃淡を調節できているか。
6月	曲から広げる抽象画	好きな曲を1つ選び、イメージに添った色とカタチで表現する。描写表現にあった画材選択、技法の考案をする。	13	○	○	デザイン画を基に丁寧に描くことができる。 素材に自分なりの工夫がみられる。 抽象を意識した画面構成。
7月	洋菓子デザイン	ふるさとをイメージした洋菓子のデザインを行う。	14	○	○	ふるさとを意識したデザインの工夫がされているか。 バランス、細部が造形的にできているか。 素材に自分なりの工夫が見られるか。
8月	名刺デザイン	自分についてもう一度見つめ考えなおし、様々な材料で名刺制作を行う。	13	○	○	自分の作りたいイメージから材料や素材の工夫をし選択しているか。 素材や材料の特性を活かし、自分を伝える名刺デザインを構成しているか。 色、素材、かたちのバランスが取れているか。
10月			27	○	○	美術科目で学んだことを活かし、自らテーマを決め制作に励むことができるか。自分なりの工夫がみられるか。
11月	卒業制作	3年間で学んだ様々な技法を応用し、卒業制作を行う。(絵画・彫塑・デザイン・その他から自由選択)				
12月						
1月						

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科	科目	36000	単位数	開設年次	選択群
美術	美術基礎		2単位	3年次	E2, E3
教科書	なし				
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
② 美術の基礎的な知識と技術の習得					
③ 制作を通じて集中力と根気を身につけ、鑑賞会を通じてコミュニケーション能力や個性、差異を認め合う力が身につく					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
美術基礎における創造的な見方・考え方を働かせることができた。	造形的な見方・考え方を働かせた主題の生成ができた。	美術の創造活動の喜びを味わうことができた。
造形や美術を捉える視点について実感的に理解を深めることができた。	創造的な表現の構想を練ることが出来た。	主体的に造形的な見方・考え方を働かせることができた。
創造的な美術を表現するために必要な技能を身につけることができた。	造形や美術、文化などについて自分の価値意識を持って捉えることができた。	表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする態度を養うことができた。
意図に合わせた材料や用具を用いて、創意工夫した表現力を身につけることができた。	課題における意味や価値を作り出す力を養うことができた。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目の2つ以上を達成した	上記の項目の1つ以上を達成した	上記の項目について達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時評価項目	①	②	評価のポイント(規準)
4月	オリエンテーション	美術基礎の1年間の授業内容を理解する。	1	○	○	1年間の授業内容及び必要な道具の理解。
5月	鉛筆デッサン	デッサンの基礎である球体、立方体、円柱の書き方を学び、材質や質感に注目し野菜や果物を描写する。	13	○	○	形を正確に捉えているか。 陰影を意識し、濃淡を調節できているか。 丁寧に鉛筆をはこんでいるか。
6月				○	○	
7月	クロッキー	短時間で人物の動きやリズムを掴み、画面に定着させるデッサンを行う。	6	○	○	動勢や比率など、対象の大きな特徴を捉えているか。 単純な線に置き換えることができたか。 諦めずに対象を描くことができたか。
	色彩の基礎	色の三属性、トーンについてワークシートを使いながら理解を深める。	2	○	○	色彩学について正しく理解し、明度トーンを把握しているか。
8月	自然物からの構成	自然物をひとつ選択し、配色を考えながら平面構成を行う。	13	○	○	大きさ、かたちに気をつけ自然物をバランス良く配置しているか。 自身のイメージにあった配色をしているか。 丁寧な色塗りができているか。
9月	名画でグレイデュ	黒と白のアクリル絵の具による描写。名画を鑑賞し、名画をもとに下絵を転写し着色する。	13	○	○	黒・白・灰色を使っているか。 絵の具を丁寧に塗り、作品の完成度を上げているか。
10月				○	○	
11月	タイポグラフィアート	現代美術や、文字デザインについて理解し、消しゴムハンコでタイポグラフィアートを制作する。	12	○	○	タイポグラフィについて理解を深められたか。 テーマに沿って文字を構成することができているか。 テーマに沿って色の選択をすることができているか。
12月				○	○	
1月						

令和7年度 年間学習指導計画(シラバス)

教科 芸術	科目 書道Ⅱ	単位数 2単位	開設年次 2, 3年次	選択群 C
教科書	書道Ⅱ(教育出版)			
副教材等				
① 科目の目標(学習指導要領)				
書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな				

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
文字や書芸術の歴史に関心を持つことができた	文字を造形的な視点で捉えることができた。	課題に対して真摯に向き合い、向上心を持って取り組むことができた。
各時代の表現方法や字体の変遷を知り、臨書学習によって再現できた	臨書学習によって習得した技能を用いて作品を制作できた。	漢字文化圏の伝統文化に関心を持つことができた。
様々な用具・用材の特性を知ることができた	様々な用具・用材の特性を生かして個性豊かな作品を制作できた。	生涯にわたり、生活の中で書芸術を身近に感じて楽しむ習慣を身につけることができた。
意図に合わせた材料や用具を用いて、創意工夫した表現力を身につけることができた	課題における意味や価値を作り出す力を養うことができた。	

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
②思考力 表現力	上記の項目の3つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった
③学びに向かう力	上記の項目の2つ以上を達成した。	上記の項目の1つ以上を達成した。	上記の項目を達成できなかった

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時間数 ① ②	評価のポイント(規準)
4～7月	漢字の書	篆書の臨書及びそれを用いた創作活動。隷書の臨書学習。	24	○ 篆書及び隷書の用筆法を理解し再現できたか。 ○ 用具・用材の特性を生かし、個性豊かな作品を創作できたか。
8～9月	漢字の書	草書・行書・楷書の古典作品の臨書学習。漢字の書の創作。	14	○ それぞれの古典作品についての理解を深め、用筆法を習得できたか。 ○ 臨書学習の成果を生かし、創作できたか。
10月	漢字仮名交じりの書	テーマをもとに作品にしたい詩文を選び、これまでの学習を生かして独自の作品を制作する。	10	○ 計画性を持って制作に臨むことができたか。 ○ テーマについて深く考察しているか。 ○ 臨書学習の成果を生かしているか。
11月～12月	生活の中の書	年賀状の制作。墨流し・マープリングで作成した料紙に新年にふさわしい文字や詩文を書き入れる。	12	○ 主体性を持って制作できたか。 ○ 作品に創意工夫が見られるか。
1月～3月	仮名の書	平安朝の仮名作品を臨書する。	10	○ 連綿や散らし書きの技法を習得できたか。